

長野県のオープンデータをどのように有効活用するのか

私は地域情報メディア論の講義でオープンデータについて学んだ。私はそこでオープンデータというものを初めて知りまだ世間的にも知られていないという課題がある。私はこのオープンデータについて何か有効活用したいと考えたため上記のようなタイトルとした。そもそもオープンデータとは機械判断に適したデータ形式で、二次的利用が可能な利用ルールで公開されたデータである。人手を多くかけずにデータの二次利用を可能とすることが出来誰でも許可されたルールの範囲で自由に複製、加工などができるため非常に便利な物である。オープンデータを利用しビジネスに生かしているものは多数あり、セーフティマップや全国避難ガイド、Spotify、除雪車ナビ等に利用されている。住みやすい街を紹介するときにも利用されていて犯罪率や平均年齢などの細かいデータを利用しているので信頼性の高いものとなっている。まずオープンデータを知ってもらうという課題の解決策はこの授業でも行ったが実際に利用してもらう機会を増やすことであると考え。実際に見ることでそこから広まっていく興味や経験が広く知ってもらうためのきっかけになると思う。また有効活用することで世間的に注目されるようになり知名度の向上につながると考えられる。オープンデータを長野県で有効活用するためには長野県と特色である健康寿命日本一位であるということを組み合わせるのだと考える。健康寿命に関わる食品の消費量や運動習慣などをオープンデータを利用しまとめ、それを発信していくことで長野県にとってもオープンデータにとってもよいPRになると考えた。